

教 育  
問 答

## 時局を幼児にどう教へませう

倉 橋 惣 三

「今日の時局は、どういふ風に子どもに教へたらよろしいでせうか」

「教へるといふことも、いろ／＼の段といひますが、層といひますが、意味を理解させるのと、事實を知らせるのとありましてね。時局を教へるといつても、

此時局の意義とか性質とかを説明するのと、ありのままの事實を知らせるのとある譯です。幼児の場合、意義の方も多少は教へられませんが、先づ事實をよく知らせることが主でせうね」

「と、おつしやいますか」  
「たとへばですね、ニュースに傳へられるその時々、戦闘とその戦果、分つてゐるならその戦闘の有様、といった事を、いはゞ物語り風に聞かせるのですね」

「物語り風と申されますのは」  
「こうしてこうした。をこへ、いつ、日本軍艦が、飛行機が、潜水艇が、アメリカの艦隊をやつゝけた。陸軍の兵隊さ

んが、どこへ敵前上陸をして占領した。といったことを、その度びに知らせてやるのですね。出来れば、戦記を読み聞かせ、戦闘映畫を見せるように」

「それはなか／＼、私どもにはむづかしいことですね」

「なかに、なにもそんなに上手でなくていいのです。たとへね、話し手に氣がはいつてゐなくてはいけません。その戦闘の御苦勞の察し、戦死負傷せられた方もあらうといふ心の痛み、殊に、勝つて嬉しい、有り難いといふ感激。それが話し手の心の中に溢れてゐて、話す時の調子に出て来るのでなければなりません」

「大東亞戦争の意義といふことは」  
「教へたいことではありますが、幼児には充分分りますまい。」

「二年目だ、一層しつかりしなくてはならぬといふことは」

〔文部省推薦児童圖書〕

童話集 朝の幼稚園 北原白秋著

昭和十七年七月十日

帝國教育會出版部發行（神田一ツ橋二

ノ九） B五判 六四頁 定價一圓八十錢

本書は著者の作になる「グラウタイシサマオウマレナツタ」以下三十篇の童話に、小池巖、高橋庸男外七氏の畫を添つた童話畫集である。本書の特色とも言ふべきものは、材料の選擇が一貫して居り、何の作品にも氣品と豊かさがあり、それが著者独自の韻律によつて非常に美しく明るい感じを與へることである。これに對して畫も亦美しく、文との調子もよく整つてゐる。

稍高價に過ぎる嫌ひがあるが、時局下の少國民に與へて、子供達の知性を磨き、感性を豊かにするに恰好の童話畫集として國民學校入學前後向に推薦する。

山國のこども 酒井朝彦著

昭和十七年八月二十五日

「それも語りたことです。さあ、二年目も勝ちぬぐぞ、の標語は至極く結構で、あつした氣持ちは素より傳へたいのですが、それ以上は幼児には、意味が分りませんまい」。

「ではたゞ事實のまゝだけで」

「だけ、は心細いですね。事實には時局の魂が籠り、事實を語る時には心が傳はらずにゐないでせう」

「それはそうですが」

「つまり、何んのために食ふとは教へずとも、一つ／＼の食物そのものをよく攝取させれば、血となり肉となるやうに。何しろ奥さん、戦争は現に行はれてゐるのです。その生々しい事實が、子どもに傳へられるのです。大きな時局教育ではありませぬか。その上に、この一年、戦闘は大々的勝利の連続で、その話には、皆喜びと感激を伴はぬものはないのです。そこを幼児に傳へたいですね。——わたしは子どもの時、戦闘の話をおつかさんがよくして下さつた。話さずにはゐられなかつたのだね、あの時の話はこの

頃本で読んで詳しく分るが、あのお母さんの感激は、心にしみ通つて忘れられないね——と、お子さんが、後になつて言はれるでせう」。

「なる程。ところが、戦争のことなど幼いものには教へず、たゞ遊ばせて置けばいゝといふ風にいふ方もありますが」

「そんなでもない。忠勇な日本の兵隊さんの勇ましい戦闘ぶりを聞いて神経衰弱になるような子どもは駄目です。又、そんなことありませんよ。但し、話し手が戦争を恐れたり、米英を恐れたりしてゐるのだつたら、子どもをもそうさせて、神経を害しませうが」

「分りました。私も、戦争を恐れてはるません。戦闘といへば、國の爲といふ感激と、その喜びと、感謝と、緊張が湧くだけでございませう」。

「あなたのその逞ましい、どこまでも國中心の戦争感を、お子さんに傳へておあげなさい。それが、時局教育ですよ」。

小學館 發行 (神田區一ツ橋二ノ五)  
A五判 一六四頁 定價一圓五十錢

本書は山國の素朴で美しい風土や行事等を背景として十吉といふ少年を中心、正月から十二月までの季節の特色と、お祭の有様を描きながら、清らかな山村の生活を映した長篇童話である。

淡々とした表現の中に、自然の美しさ、そして又その自然に對する人々の憧憬の念がよく表はされてゐる。川島四郎氏の挿畫もよい。國民學校二・三年向に推薦する。

飛田しげる 文  
吉田廉三郎 畫

オテツダヒ

(四一六歳) 泰光堂  
昭和十七、十月發行

0.25

矢野海彦 文  
小川眞吉 畫

ヘイタイサン

(五一七歳)

泰光堂  
昭和十七十月發行

0.25